

チャペル週報

そこで、わたしは言うておく。

求めなさい。そうすれば、与えられる。

探しなさい。そうすれば、見つかる。

門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

(ルカによる福音書11:9)



2011.7.4~7.8 No.12
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 7月4日(月) 神 川 崎 愛(神4)
経 舟 木 讓(宗教主事)
人 田 中 勇 気(神4)
聖和 聖書物語「ダニエル、こわい夜をすごす」
-
- 7月5日(火) 神 ハンドベルクワイアによる音楽礼拝
文 Ruth M. Grubel(院長)
社 出合い⑥ Hans Peter Liederbach(社会学部教授)
法 栗 林 輝 夫(宗教主事)
経 舟 木 讓(宗教主事)
商 森 田 雅 也(文学部教授)
国 Ronald Fujiyoshi(元日本基督教団・在日大韓基督教会宣教師)
聖和 手話部「たんぽぽ」
総 久保田 哲 夫(総合政策学部教授)
-
- 7月6日(水) 神 山 田 香 里(神学部専任講師)
社 出合い⑦ 打樋啓史(宗教主事)
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle(宣教師)
商 山 本 俊 正(宗教主事)
人 音楽チャペル ハンドベルクワイア
国 音楽チャペル 関西学院聖歌隊
聖和 益 田 博(千刈キャンプ主任)
理 賛美礼拝 理工学部ハンドベル
総 中 條 道 雄(総合政策学部教授)
-
- 7月7日(木) 神 魚 住 晋 作(神4)
文 アンドレアス・ルスターホルツ(宗教主事)
社 出合い⑧ 李 建 志(社会学部教授)
法 栗 林 輝 夫(宗教主事)
経 田 淵 結(教育学部宗教主事)
商 ルース・M・グルーベル(関西学院院長・社会学部教授)
国 Christian M. Hermansen(法学部教授・宣教師)
聖和 「聖書のお話」「キリスト教保育Ⅱ」授業クラス有志
総 長谷川 計 二(総合政策学部教授)
-
- 7月8日(金) 院 大 村 眞 澄(神学部非常勤講師)
神 共に創る礼拝2
文 English Chapel Paul Dyck(文学部客員教員)
経 平 林 孝 裕(国際学部宗教主事)
人 芝 野 松次郎(学部長・人間福祉学部教授)
聖和 「ねごごかな」吉 新 ばら(キリスト教教育・保育研究センター)
理 「放蕩息子のたとえ話」松 木 真 一(宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:00～8:20 於：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
7月8日(金) 高等部のために 石 森 圭 一

単一通貨「ユーロ」とソブリン・リスク —放蕩息子のたとえ話—

春井久志

2007年の米国発「サブプライム問題」の世界的な金融・経済危機への急展開は大方の予想を遙かに上回る未曾有の事態であった。特に、1999年に導入された欧州連合の単一通貨「ユーロ」を大きく動揺させた。ユーロ圏を構成する各国はその通貨主権を放棄し、各国の国民通貨を廃止した。同時に、各国の金融政策は欧州中央銀行（ECB）の金融政策に統一され、政治から独立して物価安定を達成することを目的とする。他方、財政主権や金融規制・監督権限は各国が留保した。この「構造問題」を未然に防止するため、各国の財政規律を求める「安定成長協定（SGP）」が制定され、ECBによる加盟国への財政支援は禁止された。今次の金融危機は「構造問題」を抱えるユーロ圏を直撃し、財政規律は破綻した。このような経済環境の変化の下で、「グローバル・インバランス」の拡大→資産価格（地価、株価）のバブル発生→世界金融・経済危機が発生した。危機に見舞われた欧米諸国の金融機関のバランスシートが大きく毀損したため、金融システムを破綻から救済するために金融当局により公的資金が大量に注入された結果、中央銀行のバランスシートの膨張と政府債務の拡大が生じた。政府債務の累増を懸念した2009年秋以降のギリシャ危機により、民間金融機関のリスクを肩代わりしたEU諸国のソブリン・リスク（国債への信認問題）へと進展した。これに対応して、ユーロ圏では欧州委員会とECB、国際通貨基金とが協力して金融安定化基金を緊急に設定した。

『ルカ』15章の「放蕩息子のたとえ話」では、資産家の二人の息子の内、弟が父親の財産の生前分与を要求し、財産をお金に代えて旅に出てしまう。だが放蕩な生活で財産を使い果たし、困窮のどん底に陥った。そこで弟は本心に立ち返って、父の赦しを求めて、帰宅する。父親は遠くから息子を認めて、その無事の帰還を祝って大宴会を開いた。この騒ぎを聞きつけた律儀な兄は、放蕩の限りを尽くした帰宅した弟を救うことができなかった。この兄に対して父は、死んだと思っていた弟が無事に帰ってきたのだから、家族として喜び祝うのは当然のことである、と兄を諭した。貴方なら父親の決断をどのように評価しますか？夏休みの宿題を休みが終わる直前になって大慌てで対処した記憶のある人は必ずしも少なくはないのでは…。貴方の兄弟や、また時には両親が子供の宿題の手助けや肩代わりさえしたでしょう。家族愛ならではの結束！さて、ユーロ圏諸国はヨーロッパの統合を目指す家族愛という「結束力」を発揮できるのか？

（経済学部教授）

●宗教活動委員会 第1回教育研究部サロン

「関西学院創立者 W.R.ランバスの生き方に学ぶ」

映画「パールリバーより地の果てまで～W.R.ランバスの生涯～」

ミニ・レクチャー「ランバス先生のたどった道」

パールリバー（アメリカミシシッピ州 ランバス家の故郷）の記念碑に「世界市民にしてキリストの使徒」と記されているランバス先生は、日本滞在わずか4年間で関西学院を創立、その後も世界各地を駆け巡り、大きな功績を残されました。先生の働き、活動の原動力にふれ、創立時の熱い思いを、いま関西学院に連なる仲間と共有し、学んでいきたいと思えます。

と き：7月14日（木）18:00～20:00

と ころ：西宮聖和キャンパス メアリー・イザベラ・ランバスチャペル（山川記念館2階）

講 師：神田健次（神学部教授、キリスト教と文化研究センター長、学院史編纂室長）

主 催：宗教活動委員会教育研究部

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。

（18:00～18:20 1405教室）

7月8日（金）樋 口 進（宗教センター宗教主事）

7月15日（金）田 淵 結（教育学部宗教主事、宗教総主事）

7月22日（金）A.ルスターホルツ（文学部宗教主事）

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

7月10日（日） 午前10時～11時

関西学院会館ベーツチャペル

●関西学院チャペル・オルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスンたち44人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き：10月8日（土）13時～17時頃（途中休憩有）

と ころ：ランバス記念礼拝堂（上ヶ原）

指導者：高橋明子、太宰まり、能島亜未

主 催：吉岡記念館事務室宗教センター

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月25日（火）

11月15日（火）

いずれもランバス記念礼拝堂（上ヶ原）にて10:35～11:05

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。